

(別紙4(2))  
**目標達成計画**

事業所名 : グループホーム 岱明の里  
 作成日 : 平成26年1月6日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	実施マニュアルの改訂後は、見直された部分も含め全員の共通認識として勉強会の開催が期待される。	防災対策については、職員会議、誰が現場に居合わせても行動できるようにする。	マニュアルの改訂は、年2回の防災訓練後に、反省を含め、人員の変更やその他の実施事項を現実的なものとし、マニュアルをその都度改訂、職員全員が実施出来るようにする。	3ヶ月
2	35	隣接するデイサービスには自家発電など準備されているが、ホーム内で必要な食備蓄や防災用品を検討し、備えることが望まれる。	ホーム内の食備蓄と防災用品については、勉強会(どのようなものがどれだけ必要かなど)を開催し、実行可能なものから順次行う。	ホーム内の食備蓄と防災用品については食備蓄と防災用品に分け、まず食備蓄について検討勉強会を開き、来年度から実行できるように検討する。その後防災用品について検討する。	12カ月～24ヶ月
3	3	ホームでの看取りは行わないとしているが、緊急時や状態変化に伴う対応については今後も研修会の機会を持ち職員体制の強化に期待したい。	新人職員やその他の職員も全員が、いさという時の対応が出来るようにする。	SEDの使用法の訓練や救急救命については今後も消防署よりの講習を続け、新人については入社時の教育の一つとして行う。	継続
4	4	会議は系列施設の会議室で開催されているが、今後はグループホームを会場としたり、会の前に入居者の様子を見てもらう機会を設けることで、より入居者の様子を見れらう機会を設けることにより、より入居者視線での話し合いになっていくと思われる。検討いただきたい。	運営推進会議は、参加者や地域の方々には、グループホームの施設や職員、ご入居者の様子を見てもらう機会を設け、ご入居者の視線で話し合い、意見を頂けるようにする。	運営推進会議は、参加の人員数やグループ施設全体として地域とかかわっているため系列施設の会議室で開催している。今後は会議の前、または、いつでもグループホームへ見学に来られるように案内し、施設や職員、ご入居者の様子を見て頂き、会議での話し合いやご意見を頂けるようにする。	3ヶ月
5	5				

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。